# 令和８年第１０回恵那市教育委員会会議録

開催日時　　令和８年９月１８日（金）　午後１時３０分～

開催場所　　恵那市役所　西庁舎　４Ａ会議室

出席委員

| | |
|---|---|
| 教　育　長 | 岡　田　庄　二 |
| 教育長職務代理者 | 西　尾　修　欣 |
| 委　　員 | 小　栗　秀　子 |
| 委　　員 | 樋　田　東　洋 |
| 委　　員 | 村　松　訓　子 |

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

| | |
|---|---|
| 副教育長 | 伊　藤　政　之 |
| 事務局長 | 西　尾　功 |
| 教育総務課長 | 纐　纈　千　尋 |
| 教育総務課総務係長 | 志　津　博　光 |

日程第１　　会議録署名者の決定
日程第２　　会期の決定
日程第３　　会議録の承認
日程第４　　教育長の報告
日程第５　　議事

| 議　事 | 案　件　名 | 結　果 |
|---|---|---|
| 議第４３号 | 令和７年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について | 可　決 |
| 議第４４号 | 令和８年度９月補正予算その２（案）に関する意見について | 可　決 |

開　会（午後１時３０分）

教育長　　それでは、定刻になりましたので、令和８年第１０回恵那市教育委員会定例会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

１　会議録署名者の決定

教育長　　日程第１、会議録署名者の決定。西尾委員、小栗委員、よろしくお願いします。

２　会期の決定

教育長　　日程第２、会期の決定。令和８年９月１８日、１日間です。

３　会議録の承認

教育長　　日程第３、会議録の承認です。

お手元に会議録があると思いますが、修正等ありましたら教えてください。

西尾委員　３ページの教育長さんの報告の文章の後ろから９行目で、「ある時期からほとんどの紡績株式会社は、」とありますが、「株式」は要らないと思います。

教育長　ありがとうございます。ほかはよろしいですか。

では、その部分だけ訂正して承認ということで、よろしくお願いいたします。

４　教育長の報告

教育長　日程第４、教育長の報告です。

教育長訪問で、こども園４園と小・中学校１校ずつへ行ってきました。こども園は人数の少ないところも子供たちは元気ですし、先生方も元気でやっていました。それから、少ないからかもしれませんが、異年齢でいろいろな活動をしているので、周りを見て学ぶ子、優しい声をかけてあげる子、それぞれの年に応じて協力してやっていて、小さいなりにも集団として学びの多い教育活動を仕組んでくださっているということを感じました。

それから、恵那東中学校と恵那北小学校の教育長訪問に行きました。恵那東中学校は、生徒も先生もある程度の人数がいるということで、集団の学びの良さがたくさん出ていました。恵那東中学校は、学年が進むにつれて落ち着いた態度で授業を受ける姿勢があり、学びが充実しているということを思っています。職員も力のある者が何人もいますので、その職員を中心にしていい方向に進んでいると思いました。恵那北小学校は、規模が小さいということをどう生かしていくかというようなところで、ＡＩに果敢に挑戦してくださっていて、いろいろな取組をしていただいています。「恵那北小型」といって、恵那北小学校の児童にはこういうことが必要だということで、校長の考えが形になっていることは、私としては非常にうれしく思っています。

それから、９月８日は気象警報のレベル４が発表されました。気象警報のレベルが変更されてから初めてのレベル４だったので、学校現場も教育委員会も翌日の学校をどうするかということで非常に迷いました。教育委員会としては、「午前６時３０分の時点で警報が発表されていたら休校、６時３０分時点で警報が発表されていなければ学校は通常どおり行う」というルールはつくってあるのですけれども、今回、場所によって降り方も大分違ったので、それぞれの校区の校長先生方が相談して判断をされました。結果として、恵那東中学校を除いた３校区は休校、恵那東中学校区の学校は早帰りはしましたけれども通常どおり行いました。校長先生方がそれぞれの責任において判断されたことはよかったと思いますが、教育委員会としては、少し見直すところがあると思っています。一つは、現在の６時３０分という時間をもう少し早めて６時にするということです。そうすることで、早めに警報が解除された場合でも、通常の登校までに準備ができると考えています。できる限り原則どおり対応したいのですけれども、レベル４というのは尋常ではない降り方ということと、今回はレベル２から急にレベル４に引き上げられ、レベル４が長く続くかと思われましたが、割と早めに解除されたということで、対応の難しさを感じました。その

中で、教育委員会は教育委員会で情報を持っていますし、学校は学校で情報を持っているので、特にレベル４が発表されたときには、まず校長会の役員の先生方と教育委員会で情報を共有して、対応について話し合う場を設けることが必要ではないかと考えています。今回は、現場の方たちには非常に迷惑をかけたということを思っています。

それから、昨日は、こどもフェスタの実行委員会がありました。非常にいいお話を聞けたので、それを紹介したいと思います。一つは、参加してくださった方が１，３００人を超えて、年々増えてきています。今年はいろいろなブースを工夫しながら、長島小学校の体育館も借りて会場を広くして行いました。ボランティアの中学生の数は固定してきていて、一番多いときでは２００人ぐらい来ていたのですけれども、今年は６０人ぐらいでした。やはり数も大事ですけど質が大切かと思いました。ボランティアが始まった頃は、とにかくボランティアに行くと証明書をもらって何かプラスになることがあるのではないかということで、たくさん来たのですけれども、今の子たちは、本当に学びたいとか、参加したいという気持ちの子が多くて、「こういう機会を与えてくださってありがとうございました」という声や、高校生や大学生の姿を見てすごく学ぶことが多かったという感想がありました。高校生も大学生の姿を見て学ぶことが多かったと言っていました。大学生は幼い子や小学校、中学校の子たちと話をして、やはり学ぶことが多かったということで、それぞれに学びがある。

それから、ミジンコなどの小さな生物の研究者の方が見えたのですけれども、この方がすごい方で、田んぼからすくってきた水を見ると、「４種類から５種類います」とすぐに分かるのだそうです。専門家というのはとてもすごいということを思いました。その専門家の方が話をされるので、子供たちも保護者の方も目を輝かせて聞き入っていました。理科の先生方も参考になったということがたくさんあって、本当にみんなが学べるすごくいい活動だったと感じました。思いのある方がボランティアのような形で２５年続けてきたのですけど、ここへ来て、思ったよりもほかのところから来た方にすごく評価を受けています。「こんなものがあるのは恵那だけではないですか」や、「毎年来たいです」といった意見があり、移住・定住や、恵那市のＰＲにも大きな役割を果たしているのだと思い、すごくよかったと思っています。実行委員の方たちも「来年度はもっと良くしましょう」ということで、改めて意欲を持ち、今日からスタートするような気持ちを持ってみえますので、教育委員会もできることはやっていきたいと思っています。

私からの報告は以上です。

５　議事

教育長　　日程第５、議事に入っていきます。

議第４３号令和７年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について、事務局から説明をお願いします。

事務局長　議第４３号令和７年度恵那市教育委員会事務事業点検及び評価について説明。

教育長　ただいまの説明について、ご質問等あればお願いします。

樋田委員　Ｂ評価のところを丁寧に説明してくださったのですけど、Ｃ評価は基本的には目標を達成しているので、目標が全部達成できていいというふうにまず思うわけです。しかし、これを公表するというときには、Ｂ評価にした根拠として目標を上回っている部分が何かということが分かる文言があるといいと思います。とても大変な仕事をスムーズに問題なくできたというような部分があって評価が高まっていくという気持ちはよく分かるのですけれど、この評価区分のＡからＥまででいうと、そういうことがもう少しどこかのコメントというか実績の辺にあると、さらに納得できるというふうに思います。

事務局長　承知しました。教育行政評価委員会ではそのような説明ができるようにしていきます。

樋田委員　お願いします。

もう一点ですが、８ページの学校教育研究事業費の学びの継続のところでいうと、ＩＣＴのことについての評価がここにあります。私はたまたまそのことを少し知っているということで言うだけかもしれませんけど、例えば、昨年でいうと児童生徒用のデジタル資料を作ったり、教職員向けの指導の参考になるようなデジタルコンテンツを作ったりというようなことがあります。それはＩＣＴ支援員の方たちがいて、その大きな仕事として多分やられたと思うのです。そういうことは多分他市ではないことなので、それはＢ評価をして、そういうところを評価しているのだということを内外に示していくと、当事者も励みになりますし、学校もそういうことの意味を分かってもらえるのではないかと思います。そこまで読んでくださるかどうかは別としまして、ほかにもそういう項目があるかもしれませんけど、こういうのはＢ評価でもいいのではないかということを思います。

教育長　ＩＣＴの支援員は、機器の保守や使い方、そして、困っているときに支援をするというパターンが多く、恵那市でいうと、長くやってくださっているということもあって教育にも深く関わってくださっているので、その部分を評価してＢ評価でもいいのではないかということです。要するに、期待よりもさらに上のところで協力していただいているということだと思うのですが、事務局としては大体控え目に評価を付けるので、この中でそれならいいのではないかということであればＢ評価としてもっていきます。

西尾委員　確かに、文章と口頭説明だけではやはり見えないところ、分からないところがあるわけで、当時の先生の立場でおっしゃってくださったことによって、「そうだ」ということを思えるわけであって、読むだけで分かるような文章を工夫する必要はあるかもしれないのだけれども、そういうことを付け加えることによって、Ｂ評価に上げることはやぶさかではないと思います。

教育長　よろしいですか。では、先ほど言われた開発に支援員の方が加わり、それを学校も使っているということを加えて、Ｂ評価ということで教育行政評価委員会の方には提案をさせていただきます。

そのほかどうでしょうか。

村松委員　教育行政評価委員会にこれを提示したときは、そういうことならそれでいいと思って承認してくださるという形なのですよね。例えば、「これは私たちにはあまり分からないから、ここは評価が高すぎるのではないか」というような意見が出ることもありますか。

教育長　今まではないです。基本的には目標どおり実施できたらＣ評価なので、Ｃ評価をＢ評価にするということは、難しいところなのですけど、意識としては、今までになかったような大きな事業で、なかなか時間どおりに収めることがかなり大変だということならば、できて当然だけど、でもよくできたということでＢ評価というような、そういう見方が多いので、否定的なところは特にないです。

村松委員　恵那南中学校のことは、今年度から新しく始まったことなので、今までにないことをたくさんやっているので、もちろん評価は高いということは多分分かると思うのですけど、細かいところは分からないので、そこはしっかりと説明していただいて、評価をいただけるといいと思いました。

教育長　説明を尽くします。他市とは比較するべきものではないのだけれども、他市との比較の中で、「ここは少し恵那市は際立っています」という説明をすると納得される部分もあるかもしれませんので、工夫していきます。
ほかはよろしいですか。

小栗委員　１７ページの図書館運営経費がＣ評価になっているのですが、私は、恵那南地区に読書活動の拠点ができたことはすごく大きなことだと思っています。この岩村分館に何度か行かせていただいたのですが、絵本の展示も気になるところを挟んで見えるように展示したり、中央図書館にはない面白そうな絵本が置いてあったり、図書館の中でコーヒーが飲めたり、中央図書館とは差別化するような形で展示がされていました。あと漫画が置いてあったので、司書の方に聞いてみると、やはり中央図書館との差別化も図りたいし、そこから興味を持ってほしいということでした。漫画が置いてあるというのは、図書館としては面白いですし、いろいろな工夫をしながら運営をされているので、Ｂ評価でもよいのではないかと感じました。

事務局長　施設整備に係る経費については、１４ページの先人顕彰拠点施設整備事業のところでＢ評価とさせていただいておりまして、ここの中に岩村分館の施設整備が含まれています。小栗委員がおっしゃられた運営経費の方は、人件費などのソフト事業に係るところになりますので、その評価をどうするかということです。

西尾委員　小栗委員のおっしゃることも分かりますが、人件費等に関する経費に関しては、あまり評価を上げたり下げたりというのはいかがなものかと思います。ただ、小栗委員が言われたようなアイデアなど、岩村分館を運営するためのいろいろなソフト面の部分については評価が上がるべきだというようなことですので、例えば、先ほどの１４ページの先人顕彰拠点施設整備事業の中に、「工夫しています」というような表現を加えていけば、このＢ評価の中でもまた一段階上がるというような気もします。

教育長　先人顕彰拠点施設整備事業の方はどちらかというと、佐藤一斎の方が先人というところで強く感じられて、図書館の運営でいうと、この事業だけだと少し弱い感じがします。今、実際に使い方を工夫していて、子供たちが遊びながら本を読めるところなど、小さいけれども、いろいろな役割をそこの中に詰め込んで、実際にかなりの人が訪れているということを考えると、図書という部分から評価しているところがなかなかないのでここで評価する。それで頑張っているということを示してあげることも大切かもしれないと思いました。本当にそうだと思われるならば、評価をした方がいいかと思います。

樋田委員　今、議論されていることはとても大事なことだと思って聞いていました。やはり小栗委員が言われたようなことが、市民に伝わっていくということがとても大事なことであるし、そういうふうに自己評価を私たちがしていかなければ、どこにも伝わっていかないという責めを受ける部分もあるわけで、謙虚になればいいというものでもないと思います。人件費というのは、その先にある目標を達成するためのものだと思います。市民に親しめる図書館をつくり、市民の読書活動を充実させるというより大きな目標にどんどん辿り着いていくので、その目標に照らして評価をしていくという視点を入れていかないと、結局は人件費だというところで評価が終わってしまうのではないかと思います。ほかにもまだあるのではないかと思っているのですけど、とても一人の情報では分かりきれないことなので、そういう視点を入れていただけるといいと思います。そうすることで事務方の励みになるし、市民にとっても「そういうふうにやっているのか」と理解していただくことにつながると思います。そして、それが教育行政評価を行い、市民に公開していくという本来の意味にもつながっていくと思うので、ぜひ今回だけではなくて、今後はそういうことを大事にしていけるといいと思います。

西尾委員　この事業名から受ける印象もやはり限定的になってしまうような気がしますので、何か工夫があるといいと思います。

教育長　そうですね。予算のところでの項目立てというのはなかなか難しくて、それぞれに名前を付け始めると中身が分からなくなるということもあります。内容がどのようになっているかというところで、人件費で人に充てたのだけど、その人がアイデアをたくさん出してくれて、例えば同じ１００円でも価値があったというふうに評価していく必要があります。先ほど委員さんの話を聞いて、こういった評価はこちらから発信しなければなかなか伝わらないので、私たちが取り組んできたことを示すことで、働いている人たちの励みにもなりますし、来る人にも「そんなに頑張っているなら見に行こう」という情報発信にもつながるということで教えていただいたと思っています。

西尾委員　この「経費」というものの捉え方というところで、その経費の中には経費外のものもあるので、同じ経費の中でもプラスアルファの内容も含まれているというような表現が、どこかでできればいいと思います。

教育長　あとは言葉というよりも中身を見ていくことが大切だと思います。今回、いいご意見をいただきました。私たちはどうしても普通にやっているので「Ｃ評価

でいいのではないか」という意識が強いのですが、それがどう映っているのかについては、市民の目線も含めて委員さん方に見ていただき、教えていただけるのは非常に大事なことだと思います。図書館運営経費については、せっかくそういったご意見をいただいたので、ここはＢ評価として、その内容を主張していければと思います。記載しきれない部分については、説明の中で補っていきたいと思います。

そのほかはよろしいですか。

では、議第４３号は一部を訂正して承認することにご異議ありませんか。

委　員　異議なし。

教育長　では、ご指摘いただいた評価のところは訂正をして、今度の教育行政評価委員会に提出しますので、よろしくお願いいたします。

最初に予定していました議案は一つでしたけれども、ここで追加議案として一つ提出をさせていただきます。

議第４４号令和８年度９月補正予算その２（案）に関する意見について、事務局から説明をお願いします。

事務局長　議第４４号令和８年度９月補正予算その２（案）に関する意見について説明。

教育長　ただいまの提案説明について、ご質問等あればお願いします。

よろしいですか。

では、本議案については原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委　員　異議なし。

教育長　異議なしと認めます。よって、議第４４号は原案のとおり承認することに決定しました。

本日予定の議案はすべて終了しましたので、これで令和８年第１０回恵那市教育委員会定例会を閉じます。ありがとうございました。

午後２時２８分閉会を宣言。

令和８年９月１８日

教育委員　　西　尾　修　欣

教育委員　　小　栗　秀　子